

県内の地域公共交通等

平成21年6月29日

都留市役所総務部政策形成課

1 デマンドバスについて

身延町関係

1月10日新たな交通システムを模索“デマンド交通システム講

演会”2008.01.16

町では、誰もが利用しやすい交通手段の充実を図るため、町内全域の交通体系のあり方について検討を始めました。その一環として、1月10日にデマンド交通システムの提唱者である福島大学経済経営学類の奥山修司教授を講師に招いて、中富総合会館において講演会を開催し、町内の関係者を中心に、町外者も含め約160名が参加しました。

講師からは「デマンド交通システムとは、住民の方が希望する場所から場所までドアツードア(玄関先から玄関先まで)での移動を、低額で提供する新しい公共交通サービスで、少子高齢化社会の中で高齢者の気軽な外出、園児や児童の安全な送迎など住民サービスの向上や、地域商工業の活性化などが期待される」などといった説明があり、全国40数箇所で導入済での一例を上げ「乗り物に人を合わせるのではなく、人に乗り物を合わせる」、「情報やデータをしっかり残す」、「そのデータをしっかりと分析し、改良、改善を常に加えていくことが必要」といった話がありました。

山梨県 身延町 / デマンド型乗合タクシーを運行

町は住民の足を確保するため、「みのぶ乗合タクシー」の試験運用を2008.10月1日からはじめた。山梨県内で初めての試みで、関係町村から注目されている。町は2004年9月に旧身延町、旧下部町、旧中富町が合併して発足した。旧町にはそれぞれ民営・公営バスが運行されており、新町発足を契機に統一を検討したが、山間部の多い町では課題も多かった。



このため、国土交通省の補助を受けて1

0人乗りワゴン車2台を購入したものの。今年度は旧身延町の病院のある飯富と大城・横根方面 大島・清子方面 - の2系統で、それぞれ6便を運行。利用料金は1回大人300円、小中学生が100円。事前登録し利用の際に予約電話することで住宅付近で乗車でき、毎日約15~17人の利用がある。町では、3年以内に町内全域を対象にする予定だ。なお、車両購入・電話予約システム等の初期投資は約3,600万円で、うち2分の1は補助金を充当する。

デマンド交通 利用411人 身延町10月集計 高齢者の通院に好評

身延のデマンドバスシステム 2008.10.13

先日、身延町でデマンドバスシステム開業のニュースが流れていました。

路線バス利用者が減少し、バスがいらなくなる。でも取り残された交通弱者、特にお年寄りの移動手段をどうするのかという問題で、数年前から取り入れられてきた手法がデマンドバスシステムです。

文字どおり需要があった時に提供される交通手段ではありますが、過疎地域への導入では、車両自体をバスからワゴン車に変更したり、運行時間だけは決めておいて、利用希望者は予約すると乗りたい場所まで迎えに来てくれるような運行方法です。

過疎地域の少量輸送には向いているかもしれませんが。

費用も空気を運んでいるようなバスよりは安価なのでしょう。

でも、バスの姿は消えてしまいます。

以前は過疎地でも、バスが無くなると嫁に来るものもいなくなるなどと言ったものですが、背に腹は代えられないといったところなのでしょう。

このシステムは、全国で20数か所で実用化がなされています。

今後も増えていくでしょうし、山梨県内でも初めての試みであり、今後研究する市町村も増加すると思います。



だから今、本当にバスのことを考えるべきだと思う次第であります。

写真1 ワゴンタイプの車両を使用

写真2 車両内のセンターからの指示受信装置

写真3 予約受信と車両への指示をだすセンター



増穂町関係

身延町に続き、増穂町でもデマンド交通を開始するとのこと。山間集落に高齢者が多く住む地域では合理的なソリューションなのかもしれません。

運行側のコスト削減と利用者の利便性向上が両立できるシステムを構築できるかどうかは鍵になりそうです。

(以下 asahi.com から引用)

利用者の要望(デマンド)に応じて運行する乗り合いタクシー「デマンド交通」を、増穂町が7月から試行運転する。高齢者など、車を運転できない交通弱者の「足」として、町内なら予約制で自由に乗り降りできる仕組み。県内では身延町に続き2例目の試みとなる。

町地域公共交通活性化協議会の計画によると、町中心部と山間部の二つの集落を結んでいる町営の路線バス2本を廃止。代わりに、民間委託する2台のマイクロバスを使って、今の町営バスの2ルートを基本に、大まかな運行ダイヤを設ける。

利用者は電話で予約し、運行ダイヤに沿った時間帯に配車を受ける。町内全域と鯉沢

病院が対象エリアで、基本ルートから外れてもよく、希望する場所で乗降

できる。運行は平日のみで、高校生以上300円、中学生以下は無料。通勤通学客が困らないよう、朝夕は現在の町営路線バスと同じく、バス停からバス停への定期運行で対応する。

総事業費は初年度が約3500万円、初期投資が終わる2011年度には約2千万円と見込む。一方、運賃収入は11年度で430万円程度と想定。国の補助金は当初3年間のみで、12年度からは運賃収入で不足する事業費は、すべて町の財源でまかなうことになる。町は「目的は福祉の向上」(企画秘書室)としている。

北杜市関係

デマンド交通システム、今秋試行 本格導入へ課題探る 2009年05月22日(金)

北杜市や地域住民などで行う市地域交通活性化協議会は十月から、乗客の要望に応じてバスを運行するデマンド交通システムを試行することを決めた。半年間、試験運行を行った上で、本格導入に向けた課題を探る。

デマンド交通システムは停留所で乗降する路線バスと異なり、乗客の希望する場所まで送り届けるのが特徴。県内では身延町が導入。増穂町が導入に向け、準備を進めている。

市企画課によると、試験運行は十月一日から二〇一〇年三月末までの半年間、二カ所を実施。十人乗りワゴン車を運行する。

運行区域は、市民で行う団体や一般旅客自動車運送業の資格を持つ市内の業者から募集した後、協議会の審査委員会が、利用者確保の見通しや地域住民の協力体制などを考慮して選定する。応募の締め切りは六月二十二日。

同協議会は昨年八月に設立。アンケート調査を行ってバスの利用状況などを調べ、試験運行の実施を盛り込んだ連携計画を策定していた。

企画課は「バスを実際に走らせることで今後の課題が浮き彫りになるはず。多くの市民がバスを利用できる環境を整えたい」と話している。

【山梨日日新聞社 5月22日掲載】

2009年6月時点での導入先一覧(導入順, 敬称略)

1. 福島県南相馬市(旧小高町)
2. 島根県雲南市(旧掛合町)
3. 石川県宝達志水町(旧志雄町)
4. 福島県伊達市(旧保原町)
5. 福島県浪江町
6. 福島県双葉町
7. 広島県三原市(旧大和町)
8. 福島県大熊町
9. 千葉県酒々井町
10. 長野県富士見町
11. 宮城県栗原市(旧一迫町)
12. 福島県新地町
13. 長野県安曇野市(旧堀金村)
14. 千葉県いすみ市(旧夷隅町)
15. 福島県中島村
16. 福島県本宮市(旧白沢村)
17. 栃木県芳賀町
18. 岩手県奥州市(旧前沢町)
19. 茨城県東海村
20. 山形県飯豊町
21. 福島県田村市(旧船引町)
22. 長野県上田市(旧武石村)
23. 埼玉県騎西町
24. 広島県世羅町
25. 長野県東御市

26. 茨城県石岡市
27. 宮城県女川町
28. 福島県只見町
29. 茨城県城里町
30. 宮城県角田市
31. 岡山県和気町
32. 長野県佐久穂町
33. 茨城県筑西市
34. 福島県会津美里町

35. 愛媛県四国中央市
36. 愛媛県伊方町
37. 茨城県笠間市
38. 宮城県丸森町
39. 茨城県桜川市
40. 茨城県古河市
- 41. 山梨県身延町**
42. 岩手県一戸町
43. 新潟県胎内市
- 44. 山梨県増穂町**
45. 宮城県東松島市

2 コミュニティバスについて

富士吉田市関係

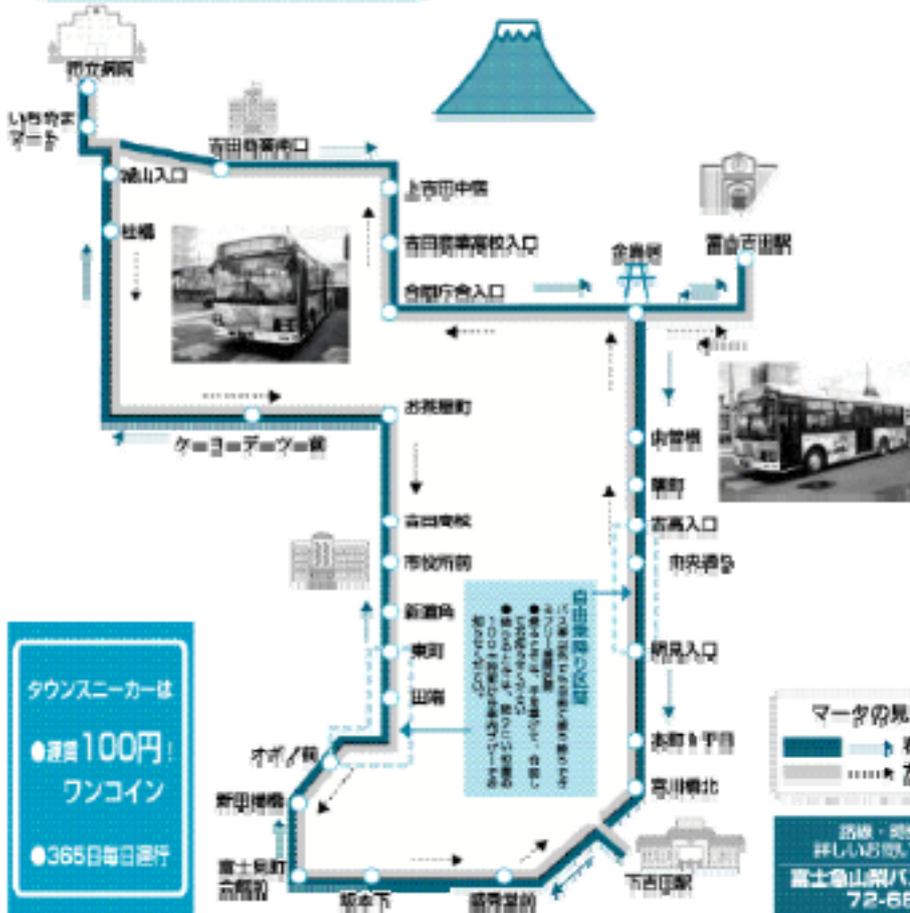
●タウンズニーカー＝右回り (下町 →)

市立病院	—	8:40	10:10	11:40	13:40	15:10	16:40
吉田商業南口	—	8:43	10:13	11:43	13:43	15:13	16:43
富士吉田駅	8:03	8:50	10:20	11:50	13:50	15:20	16:50
下吉田駅	8:10	8:57	10:27	11:57	13:57	15:27	—
市役所前	8:20	9:07	10:37	12:07	14:07	15:37	—
市立病院	8:30	9:17	10:47	12:17	14:17	15:47	—

●タウンズニーカー＝左回り (下町 ←)

市立病院	9:25	10:50	12:17	—	14:25	15:50
市役所前	9:33	10:58	12:25	—	14:32	15:58
下吉田駅	9:43	11:08	12:35	—	14:43	16:08
富士吉田駅	9:51	11:16	12:43	13:25	14:51	16:16
吉田商業南口	9:58	11:23	—	13:32	14:58	16:23
市立病院	10:02	11:27	—	13:36	15:02	16:27

今回は全4路線のうち2路線をご案内！
※今回は、上郷地・向原～市立病院線です。



市内を循環するわが市のコミュニティバス「タウンズニーカー」は、平成18年の旧市立病院の開設にあわせ、運行を開始しました。地域の皆さまの生活交通手段として、今までの約23万人の高齢者にご利用いただきを喜んでいます。

市では、より多くの皆さまにこのコミュニティバスをご利用いただけるよう、路線網を適して路線バスと、時刻表などをご案内し、使いやすくしています。

市立病院を指すルートが周辺には、公共施設、駅、商店街があり、徒歩で、お出かけ、お散歩、またお買い物などにもお気軽にご利用ください。

※このバスの運行費用の一部は、市の補助により賄われています。

おでかけバスマシプリ
市内循環線右回り・左回り

おでかけバスマップ 旭町・熊穴団地・市立病院線

旭町・熊穴団地・市立病院線は、旭町・熊穴団地と市立病院線の間を結ぶバス路線です。旭町・熊穴団地の安全・安心な市立病院への通院を確保するために、富士山製バス株式会社の定期運行として運行しています。

市立病院や、運行ルート周辺へのお出かけの際には、ぜひご利用ください。

※このバスの運行費用の一部は、市の補助によるものとなります。

●時刻表 こちらは主なバス停の時刻表です

下吉田中学校	8:00	9:22	10:17	11:22	12:22	13:52	14:52
大正寺前	8:04	9:24	10:19	11:24	12:24	13:54	14:54
旭町上	8:07	9:27	10:22	11:27	12:27	13:57	14:57
警察署前	8:12	9:32	10:27	11:32	12:32	14:02	15:02
昭和大学入口	8:14	9:34	10:29	11:34	12:34	14:04	15:04
熊穴団地	8:18	9:38	10:33	11:38	12:38	14:08	15:08
市立病院	8:30	9:50	10:45	11:50	12:50	14:20	15:20

市立病院	9:00	9:55	11:00	12:00	13:30	14:30	15:30
熊穴団地	9:10	10:05	11:10	12:10	13:40	14:40	15:40
昭和大学入口	9:15	10:10	11:15	12:15	13:45	14:45	15:45
警察署前	9:17	10:12	11:17	12:17	13:47	14:47	15:47
下吉田中学校	9:22	10:17	11:22	12:22	13:52	14:52	15:52
大正寺前	9:24	10:19	11:24	12:24	13:54	14:54	15:54
旭町上	9:27	10:22	11:27	12:27	13:57	14:57	15:57

バスマップは、市ホームページからもダウンロードできます。
 [市トップページ]→[暮らしの便利帳]→[生活]→[おでかけバスマップ]



●運賃は、どこから乗っても、ワンコイン(100円)！
 ●日曜日・祝日は運休です！

市では、より多くの皆さまにコミュニケーションをおご利用いただけるよう、各種案内を通して、路線ルート、時刻表などを案内しています。

路線・時刻など詳しいお問い合わせは
 富士山製バス株式会社
 72-6877

自由乗降の区間
 バス乗り場から乗降可能な区間の乗降は、フリー乗降区間の乗降と同様に、乗降料を払って、乗降していただく必要があります。
 ●乗降料は、乗降料100円です。
 ●乗降料は、乗降料100円です。
 ●乗降料は、乗降料100円です。